

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587026901	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク（医療現場の安全と安心） / Safety and relief in the health care		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 新川 哲子 / Shinkawa Tetsuko		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 新川 哲子 / Shinkawa Tetsuko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生（クラス等） / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	熱帯医学研究所2階 小児感染症学分野222研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー / Office hours	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日状況において、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標 / Goal	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。（授業到達目標）		
授業方法（学習指導法） / Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法（スモールグループディスカッション）を取り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：人々の健康に関する安全と安心 2. 気候変動と感染症 3. デング熱ってなに？ 4. エイズは蚊でうつるか？：蚊と感染症 5. アフリカの暮らしと蚊 6. 緊急被ばく時における放射線リスクと危機管理 7. 放射線障害を受けた住民に対する支援活動の実例 8. 医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた 9. 身近な毒と、毒を克服した生物たち 10. くすりと食べ物の境界はどこか（病気の予防と治療） 11. 食とくすりの安全について考える 12. 救急医療の現状と課題 13. 災害医療の現状と課題 14. 救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題 15. 安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと 		
キーワード / Key word	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験（担当者で異なる。授業の初めに連絡予定）で評価する。		
受講要件（履修条件） / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
10月6日	オリエンテーション：人々の健康に関する安全と安心		
10月13日	気候変動と感染症		
10月20日	デング熱ってなに？		

10月27日	エイズは蚊でうつるか？：蚊と感染症
11月10日	アフリカの暮らしと蚊
11月17日	緊急被ばく時における放射線リスクと危機管理
11月24日	放射線障害を受けた住民に対する支援活動の実際
12月1日	医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた
12月8日	身近な毒と、毒を克服した生物たち
12月15日	くすりと食べ物の境界はどこか（病気の予防と治療）
12月22日	食とくすりの安全について考える
1月5日	救急医療の現状と課題
1月12日	災害医療の現状と課題
1月19日	救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
1月26日	安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587028501	科目番号 / Subject code	05870285
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12121_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク（自然災害とインフラ長寿命化） / Natural Disaster and Maintenance of Infrastructure		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 森田 千尋 / Morita Chihiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	松田 浩 / Matsuda Hiroshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 森田 千尋 / Morita Chihiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生（クラス等） / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館6階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2590		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日6時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。		
授業到達目標 / Goal	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対処方法を習得することを到達目標とする。		
授業方法（学習指導法） / Method	本授業では、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるとともに、ビデオ等も用いて理解を深める。 本授業では、講義、グループ活動、発表を通して「自然災害と防災」および「社会インフラ構造物の長寿命化」についての知識を深めていく。初めの数回は、講義形式の授業を数回取り入れ、この授業における前提の知識を得る。その後は、1グループ5名ほどのチームに分かれ発表に向けた調査を行う。調査では、図書館やインターネットで情報収集をし、チーム内で議論をしながら発表準備を行う。発表では、調査結果を報告するだけでなく、他のグループを評価しながら、新たな知識を身につけていく。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>[]内の数字は第何回目の講義であるかの目安。()は到達目標。</p> <p>ガイダンス</p> <p>[自然災害と防災]</p> <p>自然災害概論と防災の考え方（日本の自然災害の特徴と防災・減災の考え方） 特別講師：高橋和雄 防災・減災のための社会システム（災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等） 特別講師：高橋和雄 地域防災計画（避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難） 特別講師：高橋和雄 地震・津波・火山災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策） 特別講師：高橋和雄 豪雨・台風・高潮災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策） 土砂災害と防災対策（斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化） インフラと防災対策（モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等）</p> <p>[インフラ長寿命化]</p> <p>長崎県内の橋 橋を強くさせるためには ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を考える） ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を作る） ペーパーブリッジコンテスト（コンテスト） 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」</p> <p>試験</p>		
キーワード / Key word	自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命化		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[自然災害と防災] 高橋裕:川と国土の危機、岩波書店、 この講義についてはプリント配布(高橋) [インフラ長寿命化] なし、必要に応じてプリント配布。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート、グループプレゼンテーションの発表内容、最終試験(担当者で異なる。授業のはじめに連絡予定)で評価する。
受講要件(履修条件)/Requirements	モジュール を受講していること。
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1	ガイダンス [自然災害と防災] [インフラ長寿命化]
2	[自然災害と防災] 自然災害概論と防災の考え方 (日本の 自然災害の特徴と防災・減災の考え方)
3	[自然災害と防災] 防災・減災のための社会システム (災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等)
4	[自然災害と防災] 地域防災計画 (避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難)
5	[自然災害と防災] 地震・津波・火山災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)
6	[自然災害と防災] 豪雨・台風・高潮災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)
7	[自然災害と防災] 土砂災害と防災対策 (斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化)
8	[自然災害と防災] インフラと防災対策 (モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等)
9	[インフラ長寿命化] 長崎県内の橋
10	[インフラ長寿命化] 橋を強くさせるためには
11	[インフラ長寿命化] ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を考える)
12	[インフラ長寿命化] ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を作る)
13	[インフラ長寿命化] ペーパーブリッジコンテスト(コンテスト)
14	[インフラ長寿命化] 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」
15	[インフラ長寿命化] 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587029701	科目番号 / Subject code	05870297
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12151_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク (環境リスクと社会) / Environmental Risk and the Public		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	早瀬 隆司 / Hayase Takashi, 松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 藤井 秀道 / Hidemichi Fujii		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	早瀬 隆司 / Hayase Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	早瀬 隆司 / Hayase Takashi, 藤井 秀道 / Hidemichi Fujii		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多教経薬水 学部生を対象		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-hayase@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	早瀬 (環境432)		
担当教員TEL / Tel	早瀬 (095-819-2721)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	早瀬 (水 10:00-12:00)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	環境汚染物質のリスクについて、リスクアセスメントの実際を演習で体感する。それを通してリスクの科学や政治との関係について考察し、それをもとに環境リスクの管理における科学と社会の関係について考えさせることをねらいとする。加えて、気候変動リスクの上昇に伴い、危惧されている災害被害の深刻化や、伝染病を媒介する昆虫の生息域変化など、環境問題と関連が深い問題について、災害対策や医療技術の視点から、問題の解決策・適応策について理解を深めることを目指す。		
授業到達目標 / Goal	リスク概念における主観的側面を理解する。 リスクアセスメントにおける科学の限界を理解する。 専門家主義とアカウンタビリティ、管理と公共性との間の競合を理解する。 リスク管理における、市民の立場、役割及び責任を理解する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	以下の各項目に関する基礎的知識を学び、それについてグループで演習に取り組む。 リスクの主観性 汚染物質による環境リスクのリスクアセスメントについての基礎的な手法 リスクアセスメントに含まれる科学的不確実性 専門家主義と公共性との間の競合 市民参加の意義 リスク情報の、環境リスク管理のための政策への活用		
授業内容 / Class outline / Con	環境リスクと災害リスクとの違いを含む環境リスクの基礎について講義した後、環境汚染物質であるダイオキシン等の化学物質について、リスクアセスメントの実際を演習で体感する。それを通してリスク概念の科学や価値との関係を考察し、それをもとに環境リスクの管理における科学と社会の関係について特に社会構成員である個々人の役割や責務について考察させる。ここでの最終的な問いかけは、「化学物質のリスク管理は科学技術で解決するか？」である。		
キーワード / Key word	リスク、科学的な不確実性、政治、公共性、価値、公平		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書「地域環境政策」 ISBN978-4-623-06357-4 資料 配布します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験及び授業への取り組み態度		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	平和、差別、貧困、環境・・・社会にある多様な問題。それらに無関心であることの弊害を考えましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1	「リスクは心の中にある」		

2	公害リスクから環境リスクへの変遷 化学物質の環境リスク管理（科学的不確実性と利害関係者の多様化）
3	化学物質の健康リスク評価（演習）と科学的不確実性の発見
4	化学物質の健康リスク評価（演習）と科学的不確実性の発見
5	化学物質の健康リスク評価（演習）と科学的不確実性の発見
6	「正しい」リスクはあるか？正しさについて
7	化学物質のリスク評価のまとめ と マサチューセッツ予防原則プロジェクト
8	前半の総括 健康リスク政策決定における科学と価値